

第 77 回 火力専門委員会 材料分科会 議事録(案)

1. 日 時: 2015 年 5 月 21 日 (木) 13 時 30 分～16 時 30 分
2. 場 所: 日本機械学会 第 4・5 会議室
3. 出席者: 木村 (NIMS)、伊藤 (IHI)、井手 (東電)、齊藤 (中電)、妹尾 (関電)、俣野 (KHI)
森 (新日鐵住金)、菊原 (MHPS 呉)
欠席者: 清水 (MHPS 呉、6 月からオブザーバー)
事務局: 原

4. 配付資料

- 77-1 第 76 回材料分科会議事録 (案)
- 77-2 材料分科会委員名簿
- 77-3-1 火力専門委員会書面投票結果報告
- 77-3-2 規格委員会書面投票 投票状況報告
- 77-3-3-1 追補版原稿
- 77-3-3-2 追補版原稿(外圧チャート、物理的性質)
- 77-3-4 追補版対比表等一式(最新版)
- 77-4-1 審議履歴表

5. 議 事

- (1) 前回議事録確認 [資料 77-1]
前回議事録 (案) について確認を行ない、議事録案は承認された。

- (2) 分科会委員の承認 [資料 77-2]
- ・ 清水委員の退任が報告された。新任委員候補、再任委員候補はなし。
 - ・ 委員の人数が減って各委員の負荷が厳しくなることが懸念される。各委員で新規の委員候補に心当たりがあれば、紹介していただく。

(3) 審議事項

(3-1) 発電用火力設備追補案

(1) 火力専門委員会書面投票結果報告

木村主査から、資料 77-3-1 により火力専門委員会の書面投票 No66、No67 の投票結果および No67 の意見対応案に関するメール審議結果について報告があった。また、材料分科会に係る書面投票意見とその意見対応案について説明があった。(書面投票 No66 の意見 No1 と No3、書面投票 No.67 (再投票) の意見 No2)

5 月 11 日のメール審議可決により、火力専門委員会における追補改訂案は確定し、

次に発電用設備規格委員会の書面投票を実施する。

(2) 発電用設備規格委員会投票状況報告

5月11日から6月9日の期間で書面投票中である。5月21日午後において、賛成票4票、保留・反対票なし、未投票23票となっている。

発電用設備規格委員会の書面投票が可決すると、6月10日の発電用設備規格委員会の承認を経て、追補案の公衆審査およびJESC(日本電気技術規格委員会)の省令適合性審査へと進む予定。

(3) 追補版原稿の審議

1) 本体

○追補原稿案を確認した。修正点等はなし。

2) 表Ⅱ-1-1

○追補原稿案を確認した。

【許容応力表修正事項】

- ・項目欄の「種類」についてセル内配置を中央とする
- ・JIS G3460 行No315と316間に罫線追加
- ・JIS G4053 行No469と470にて重複記載となっていることから470行以下の種類欄を空欄とする

【備考修正事項】

- ・(12)発電設備→発電機器に修正
- ・(K1)400度→400℃に修正
- ・(J4)JISB8265についてJIS B8265とJISとBの間にブランクを設ける(2箇所)
- ・30.JIS G3204(1988)→JIS G3204(2008)へ修正

3) 表Ⅱ-1-2

○追補原稿案を確認した。

【許容応力表修正事項】

- ・許容応力表の印刷範囲を修正する。

【備考修正事項】

- ・S8 鋳造品→鍛造品の修正箇所について正しく記載されている箇所が修正されているので誤記載部を修正する。

4) 表Ⅱ-1-3

○追補原稿案を確認した。

- ・表紙 ASME Cade Case→ASME Code Caseへ修正。
- ・備考の原稿案を追加作成する。

5)表Ⅱ-1-4

- 追補原稿案を確認した。
- 【許容応力表修正事項】
- ・変更箇所が限定されていることから行 No について削除行は欠番とする。
- ・削除行のある 9Cr 鋼の母材の区分-グループ番号のセル内配置を修正する。
- ・A336-F91 の 600℃許容応力について 62→63 へ修正

6)表Ⅱ-2-1

- 清水オプザバーの担当箇所であるが、許容応力表、備考原稿案を井手幹事が代行して作成することとした。

7)表Ⅱ-2-2

- 追補原稿案を確認した。修正点等はなし。

8)表Ⅱ-3-1

- 追補原稿案を確認した。修正点等はなし。

9)表Ⅱ-3-3

- 追補原稿案を確認した。
- 【備考修正事項】
- ・備考 3 ページ目：ASME B31.1a→ASME B31.1 へ修正する。

10)外圧チャート、物理的性質

- 追補原稿案を確認した。修正点等はなし。

11)補遺

- 追補原稿案を確認した。
- ・補遺 22 ページ 火 SFVAF22J1→火 SFVAF22AJ1 に修正する。
- ・補遺 26 ページ 火技解釈の引用年度を平成 26 年に修正する。
- (追加修正事項)
- ・ASME Code Case (鉄鋼材料) CC2199 (Gr.23) については、参照 SA 記号を SA-1017 に修正しているので、補遺 26～32 の「14.ASME SectionⅡ材 および ASME B31.1 材の材料名称」に以下の内容を追記する。

<追記内容案>

SA-1017/SA-1017M Specification for Pressure Vessel Plates,
Alloy-Steel,Chromium-Molybdenum-Tungsten

■追補版原稿の準備

- 追補版原稿の電子データは以下の2種類を作成する。
 - ①EXCEL または WORD 形式で修正部分を朱書きしたものを、オリジナルとしてファイル単位で残す。これは、201X改訂の元データとしても使用する。
 - ②変更部分の表・裏を黒字のみとしPDFにしたものを、印刷原稿用として作成する。
- 電子データの保管場所は、事務局がCSキャビネットにフォルダを作成する。
分科会終了後、以下のフォルダを作成した。
 - ・材料分科会／03 追補版資料／追補版原稿／★★オリジナル修正ファイル
 - ・材料分科会／03 追補版資料／追補版原稿／★印刷用PDF
- 電子データは、規格委員会前日の6月9日(火)までに、アップロードする。
- 火専対応の原稿を完成させ、規格委員会対応で変更が発生した場合には、あらためて修正する。(作業の輻輳を避ける。)

(3-2)レビュー票審議

追補版完成の目途がついた時点で、追補版から201X改訂版制定への考え方を、まず整理したい。

6. 次回開催予定

日 時 : 2015年8月21日(金) 13:30~17:00

場 所 : 日本機械学会 第3,4会議室